

新たな総合計画「長期ビジョン編」骨子案 (2050年頃の目指すべき将来像)

1 時代の潮流（世界～日本～徳島）

- ◆世界人口は95億人を突破し、爆発的に増加。
一方、我が国の人口は1億人を割り込み、超高齢化と地域的偏在も加速。
- ◆南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生が切迫。
地球温暖化に伴う気候変動により、自然災害リスクの増大も懸念。
- ◆地球温暖化の進行に伴い、地球規模での環境問題が深刻化。
人口爆発と相まって、食料・水・エネルギーの確保が危機的状況に。
- ◆ICTの飛躍的な進歩をはじめ、科学技術は一大変革（イノベーション）を遂げ、社会システムや生活様式を一変。
- ◆アジアが世界経済を牽引し、グローバル化の流れが一段と加速。
ヒト・モノ・カネが国境を自由に超える時代に。

2 徳島の将来像に対する主な意見

- 少子化対策として、「結婚～出産～子育て」というライフプランの教育が必要。
- 夫婦が理想の数の子どもを持つためには、若年層の雇用環境の改善や、家庭で子育てしながら働くことの出来る多様な選択肢の提供が不可欠。
- 人口減少や超高齢化を見据えたコンパクトかつ計画的なまちづくりが重要。
- 地域防災力の向上には、個人の常日頃からの備えはもちろん、地域での信頼関係を築き、お互いの生活情報を増やし、相互扶助の地域づくりにつなげていくべき。
- 大規模災害への備えとして、県民への正確な情報の提供と防災教育の充実、耐震化への支援、備蓄品の改良・増量など、多面的な取組が必要。
- 洋上風力発電や潮流発電など、地産地消の再生可能エネルギーの導入を推進するとともにICTを活用し、世界最先端のスマートシティを実現する。
- 様々な課題解決の有効な手段として、また、産業の活性化のため、ロボット開発やICTなどの科学技術の進展は不可欠。また、4Kや8Kの普及促進、高速ブロードバンド網のあらゆる場面での活用など、徳島ならではの技術を進化させるべき。
- 人口減少や科学技術、防災など、様々な面で四国新幹線の実現がもたらす多大な効果に期待する。
- 高校生や大学生が気軽に海外留学できる環境づくりと併せて、外国人と学生が身近に異文化交流できる機会を増やし、グローバル社会で活躍する人材を育成すべき。

3 将来ビジョン（2050年頃の姿）

□世界へ発信「笑顔のTOKUSHIMA」

- ・子どもたちの笑顔が地域にあふれている
- ・未来を創造するたくましい若者が社会へ巣立っている
- ・一人ひとりが自立しながら支え合い地域で繋がっている
- ・健康寿命が延び多様なライフスタイルが実現されている
- ・地域・世代を超えて人の和が広がっている

□世界に誇る「強靱なTOKUSHIMA」

- ・災害に強くしなやかな県土が広がっている
- ・自然の脅威から命を守る地域の絆が結ばれている
- ・自然の恵みを循環させるスマートな社会が創り出されている
- ・豊かな自然と潤いあるふるさとの風景が守られている
- ・安全・安心で豊かな食文化が息づいている

□世界とつながる「創造のTOKUSHIMA」

- ・地域の強みを活かした新たな成長ビジネスが産み出されている
- ・世界をリードするクリエイティブな人財が集う場がある
- ・世界に誇る伝統が世代を超えて受け継がれている
- ・世界を変えるイノベーションの渦が巻き起こっている
- ・TOKUSHIMAが世界のスタンダードに躍進している